

短期留学生報告（2010年10月～2011年9月）

加藤扶久美

1. はじめに

富山大学留学生センターでは、学術交流協定校からの短期留学生が学部および大学院で学習・研究が円滑に進められるように、「富山大学短期留学生受入れ体制要項」に基づき、日本語教育および見学旅行「スタディ・トリップ」の立案・実施をしている。

富山大学に在籍した短期留学生は、2010年度後期（2010年10月～2011年3月）が14人、2011年度前期（2011年4月～9月）が14人であった。表1に所属別短期留学生数を、表2に出身大学別短期留学生数を示した。

表1 所属別短期留学生数

	五福地区				高岡地区	合計
	人文	人発	経済	理工	芸文	
2010年度後期	7	2	4	1	0	14
2011年度前期	8	1	3	1	1	14

* 人文は人文学部と人文科学研究科，人発は人間発達科学部，経済は経済学部と経済学研究科，理工は理工学教育部，芸文は芸術文化学部を示す。

表2 出身大学別短期留学生数

		2010年度後期	2011年度前期
韓国	国民大学校	4	3
	江原大学校経営大学	1	1
	慶北大学大学院	0	1
中国	山東大学	2	2
	遼寧大学	1	1
	大連理工大学	1	1
	大連理工大学大学院	1	1
	中南林業科技大学経済学院	1	1
	中南林業科技大学経済学院大学院	1	1
	西南交通大学交通運輸物流学院大学院	1	0
	上海大学大学院	1	0
タイ	チュラロンコン大学大学院	0	1
フィンランド	ラハティ応用化学大学	0	1
(合計)		14	14

本稿では、表1、表2に示した短期留学生について、2010年度後期と2011年度前期の日本語プログラム（五福キャンパス）の受講状況とスタディ・トリップへの参加状況について報告する。

2 日本語プログラム（五福キャンパス）の受講状況について

2.1 総合日本語コース

上級レベルの短期留学生は、総合日本語コースを受講できる。受講者は、2010年度後期が7人、2011年度前期が5人である。

表3に所属別「総合日本語コース」受講者数を示した。「総合日本語コース」の受講者は文系の人文学部、人文科学研究科、人間発達科学部、経済学部 に在籍している。

表3 所属別「総合日本語コース」受講者数

	人文	人発	経済	合計
2010年度後期	6	0	1	7
2011年度前期	4	0	1	5

* 人文は人文学部と人文科学研究科，人発は人間発達科学部，経済は経済学部を示す。

表4-1と表4-2に、授業科目別「総合日本語コース」受講者数を示した。

表4-1 授業科目別「総合日本語コース」受講者数

	読解A2	読解B2	作文2	聴解2	会話2	漢字2	日本文化2	文法2	表現技術2	合計	平均受講コマ数
2010年度後期 (受講者：7人)	0	5	0	1	3	1	6	1	4	21	3

表4-2 授業科目別「総合日本語コース」受講者数

	読解A1	読解B1	作文1	聴解1	会話1	漢字1	日本文化1	文法1	表現技術1	合計	平均受講コマ数
2011年度前期 (受講者：5人)	0	1	4	5	4	1	5	2	0	22	4.4

平均受講コマ数は、2010年度後期が3コマ、2011年度前期が4.4コマである。

2.2 日本語課外補講

初級・中級レベルの短期留学生は日本語課外補講を受講できる。受講者は、2010年度後期が4人、2011年度前期が3人である。

表5に所属別「日本語課外補講」受講者数を示した。2010年度後期は、経済学部1人と経済学研究科2人と理工学教育部1人の計4人が、初級クラスを受講した。2011年度前期は、経済学部1人が中級クラスを、経済学研究科1人と理工学教育部1人の計2人が初級クラスを受講した。

高岡キャンパス芸術文化学部では、2011年度前期に短期留学生が1人在籍したが、時間割の都合で、五福キャンパスで開講されている日本語課外補講を受講できなかった。

表5 所属別「日本語課外補講」受講者数

	経済学部	経済学研究科	理工学教育部	合計
2010年度後期	1	2	1	4
2011年度前期	1	1	1	3

2.3 成績評価

上級レベルの短期留学生については、受講した総合日本語コースの科目の成績評価がなされる（「総合日本語コース報告」参照）。学生への成績通知は、日本語教育部門短期留学生担当の加藤扶久美が「学業成績通知書」を作成し、学期末に個別に渡している。人文学部については、学部長名で、「富山大学人文学部短期（1年）留学生プログラム（受け入れ）」に基づく「履修証明書」が発行されている。

初級・中級レベルの短期留学生については、依頼に応じて、受講した日本語課外補講の「受講証明書」が発行される。

3 スタディ・トリップの実施状況

3.1 見学

2010年11月12日（金）の「外国人留学生のための見学（歴史・文化探訪）」の一環としてスタディ・トリップを実施した。経費は学長裁量経費と留学生経費で、貸切バスで出かけた。行き先は瑞龍寺（高岡市）、瑞泉寺（南砺市）、井波彫刻総合会館で、参加者32人のうち、短期留学生は12人であった。留学生指導部門の出原節子と短期留学生担当の加藤扶久美が企画し、出原節子、加藤扶久美、副島健治および学務部学生支援グループ留学支援チーム員の4人で引率した。

3.2 フィールド・トリップとの合同見学

日本語研修コースのフィールド・トリップとの合同見学として、2011年6月24日（金）の午後に富山市民俗民芸村と五百羅漢に出かけた。参加者6人のうち、短期留学生は1人であった。短期留学生担当の加藤扶久美が企画し、加藤扶久美、副島健治および後藤寛樹が引率した。

4 おわりに

学術交流協定に基づく短期留学生に対する留学生センターの支援は、日本語教育とスタディ・トリップである。日本語教育については、日本語課外補講を受講する初級・中級レベルの学生および総合日本語コースを受講する上級レベルの学生に対して、今後も学部等との連携をとりながら支援体制をさらに充実させていきたい。

また、スタディ・トリップについては、広く全学向け見学ツアーの一環として企画し実施したが、大変好評であったので、今後も同様の企画を盛り込んで進めていきたい。